

【市民の皆様へ】

ワクチン接種後の副反応の対応について (お 願 い)

北見医師会
北見薬剤師会

市民の皆様、ワクチン接種を終えられて、コロナ感染や重症化予防へ一歩踏み出すことができたと思われているのではないのでしょうか。

さて、今回皆様が接種されたワクチン（モデルナ社製）は、各国並びに我が国において多くの方々に安全に接種されております。しかしながら、ワクチンによる抗体形成の過程において、注射局所の痛みや上腕の痛みに加えて、発熱、頭痛、倦怠感などの副反応がかなりの頻度で発現することがわかっております。多くの場合は、いずれも、1～3日間程度で自然に軽快します。

これらの副反応は、安全性の観点から解熱鎮痛薬（アセトアミノフェン）の使用により改善がみられます。

なお、このお薬は広く扱われており、最寄りの薬局または調剤薬局でお買い求めできますので、薬剤師にご相談の上、服用していただきたいと思っております。

厚生労働省研究班の調査では、モデルナワクチン1回目接種後の発熱（37.5度以上）の症状は、翌日に5%前後の方に出現します。また、2回目接種後では翌日に75%、翌々日に20%程度とされております。

接種後、皆様が発熱や頭痛等がでたため、あわてて「発熱外来のある医療機関」を受診されますと、当該医療機関の診療機能の低下が懸念されます。

このようなことから、まずは経過観察、解熱鎮痛薬の服用での対応、あるいは3日以上発熱、他の症状が続くなどご心配の場合は、「かかりつけ医」にご相談いただきますようお願い申し上げます。

なお、症状が出る前に、予防的に服用することは抗体産生が低下する可能性があることから推奨されていません。

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター

☎0120-306-154 【受付時間：9時～17時30分（年中無休）】